

アミアド 薬液・液肥混入器

型式: 4-01S 型

かしこい営農のお手伝いを
いたします

□ 外部動力不要

管路の圧力水を利用することで混入器のハイドロモータを駆動、薬液(液肥)を吸引し管路へ圧入します。電動機や内燃機等の外部動力は一切不要です。

□ 優れた耐食性

材質は高機能樹脂を採用していますから臭素系の薬品を除き、市販されているほとんどの農薬をご使用いただけます。

□ 圧力損失はほとんどなし

ベンチュリー方式の混入器ではありませんから、差圧をつくりだす為に管路を絞り込む必要はありません。適用圧力が0.1MPa(約1kgf/cm²)程度の点滴灌漑システムにも安心して採用可能です。

□ いつでも簡単に移動でき、投資効果は絶大です

軽量可搬式ですから混入器用接続管を前もって各圃場やハウス毎に用意しておけば一台でいつでも必要なときに迅速な適期防除や肥料散布ができます。

□ 容易な混入量の制御

混入(圧入)量は使用圧力にもよりますが、圧力に比例して毎分1.65ℓから5.28ℓ(4-01S型)です。混入量は混入部のボールコックの開度調整により簡単に調節可能です。



4-01S 型 据付図

AMIAD FILTRATION SYSTEMS

仕様書

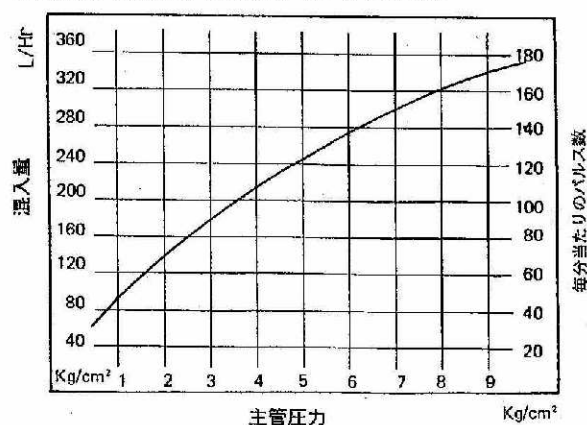
4-01S型シングルユニット

型 式	4-01S(可搬式)
混入(圧入)量	1.65 ℓ/分～5.28 ℓ/分(但し、取水圧力による)
適用主管流量	任意(推奨範囲: 60 ℓ/分～230 ℓ/分)
適用主管圧力	0.1MPa～0.8MPa(1.0kgf/cm ² ～8.0kgf/cm ²)
1パルス当たり混入量	33cc (1パルス=ピストン1往復)
駆動水消費量	混入薬液の3倍
混入量の微調整	薬液混入ホース接続部のコック開度調整にて可
接 続	専用混入器接続管使用
使用材質	高機能耐蝕性樹脂
重 量	5kg

4-03S型デュプレックスユニット

型 式	4-03S(可搬式)
混入(圧入)量	3.30 ℓ/分～10.56 ℓ/分(但し、取水圧力による)
適用主管流量	任意(推奨範囲: 120 ℓ/分～460 ℓ/分)
適用主管圧力	0.1MPa～0.8MPa(1.0kgf/cm ² ～8.0kgf/cm ²)
1パルス当たり混入量	33cc (1パルス=ピストン1往復) × 2
駆動水消費量	混入薬液の3倍
混入量の微調整	薬液混入ホース接続部のコック開度調整にて可
接 続	専用混入器接続管使用
使用材質	高機能耐蝕性樹脂
重 量	7kg

薬液混入(圧入)特性表 [4-01S型]



据付と操作例

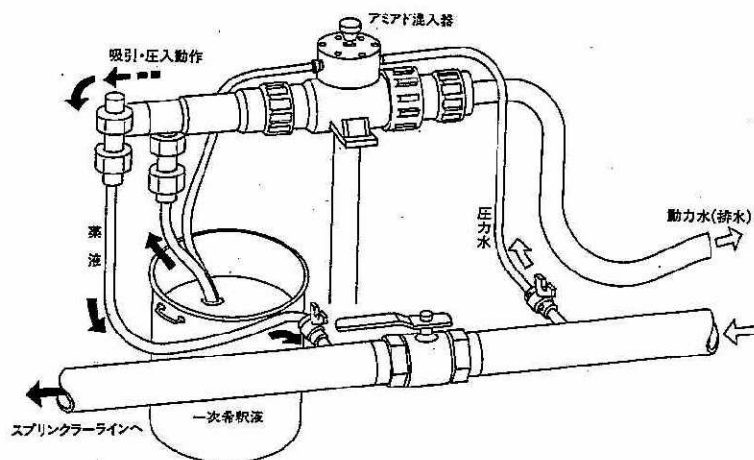


図 5

1. 先ず、本器を混入器接続管の近くに立てた3/4" (20mm) 程の鉄管に吊り下げます。

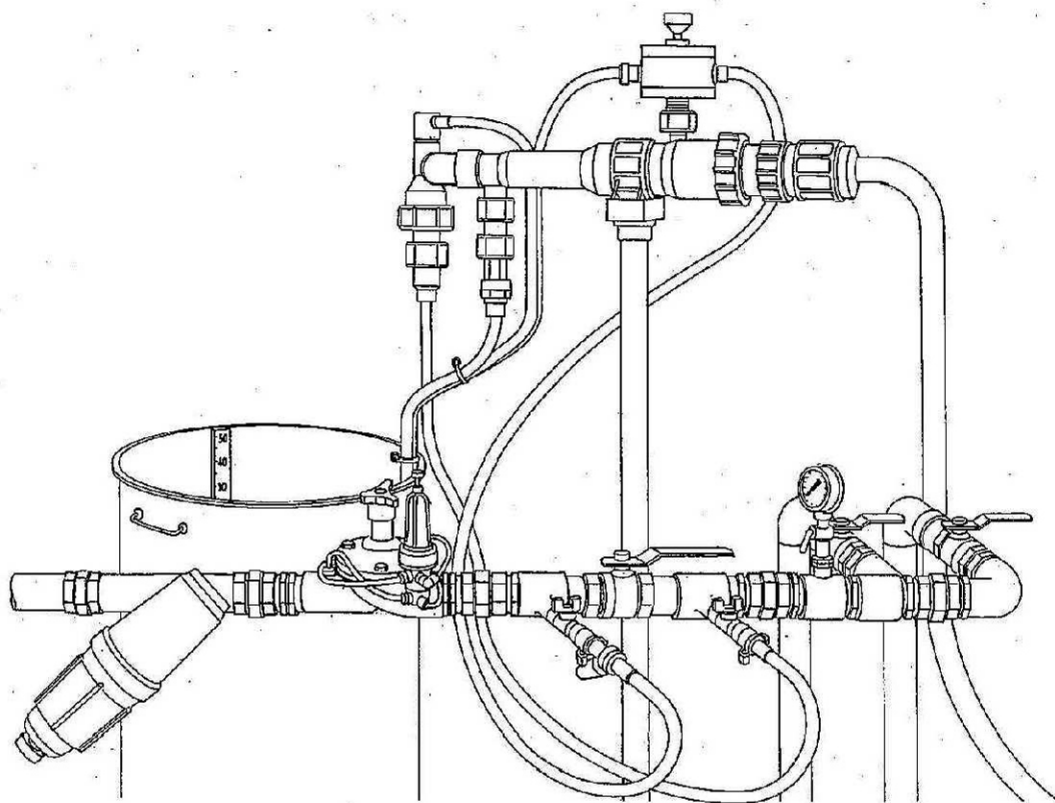
口径3/4" で120cmほどの長さの鉄管 (片ネジ付き) を1本、1" x 3/4" のブッシング1個、それに1"のキャップを1個用意します。鉄管をネジ部を上にして本器の近くの地中に40cmほど打ち込みしっかりと固定します。鉄管ネジ部にブッシングをネジ込み本器のブラケットをはめた後、1" のキャップ をすれば本器のセットアップ完了です。本器の高さが、使用する薬液コンテナの薬液面より低くならないようご注意ください。

2. 図5に示されたように、駆動水取水ホースと薬液混入ホースとをそれぞれ間違えないように接続管に接合します。

ラビットカップラーを接合しやすいようそのゴムパッキンに水をかけてください。

3. 薬液吸引ヘッドを薬液コンテナの中に入れ垂直にセットします。
4. 薬液混入ホース側のボールコックを全開にします。
5. 駆動水取水ホース側のボールコックを開け、次に、始動停止装置の赤いツマミを引き上げると本器は作動を開始します。尚、当該ツマミを下へ押し下げると作動を停止します。
6. 始動時には本器内の空気抜きを行う必要があります。空気抜き弁を軽く押してください。空気が抜けると本器の運転がおちついたスピードに変化します。
7. 薬液混入量の調整が必要な場合は薬液混入ホース接続部のボールコックを任意に絞り込み調整します。

コントロールヘッド例



コントロールヘッド

小型プラスチック製フィルター、圧力調整パイロット付き緩動弁、混入機、
混入機接続管、薬液コンテナ、仕切弁、圧力計、薬液ミキシング管など
これらはコントロールヘッドを構成する主要標準品です。

AJバーステック 株式会社

《 お問合せ 》

TEL: 03-3333-8011 FAX: 03-3335-5495